



■ 第28回家族のつどい ■



～デイケアにおける発達障害支援のこれから～

リハビリテーションセンター 臨床心理士 横井英樹

新型コロナウイルス感染症 (Covid-19) による影響が出始めた2020年2月に開催中止となった「第27回家族のつどい」から2年が経過しました。全体会の企画テーマは「家族が元気に過ごすために自分のために出来ること～いいかんじの自分と元気になるための工夫～」で、体験的なワークを実施する予定でした。その内容はスタッフによるグループワークを動画にしてご覧いただくお約束をしましたが、1年半後によりやく完成し第28回にご参加いただいた方に配信することができました。当初のご案内と異なる内容でお届けすることになってしまいましたこと、この場を借りてお詫び申し上げます。



さて、第28回は「デイケアにおける発達障害支援のこれから」という大きなタイトルで、烏山病院デイケアの発達障害専門プログラムやそれに準ずるプログラムを体系的にご紹介する内容といたしました。お子さんがデイケアに参加していても何をやっているか全然話をしてくれない、というのは多くのご家族から聞きますので、一度全体像をお伝えしようという企画です。デイケアプログラムの機能を「スキル獲得—居場所」「就労支援—生活支援」の軸で分類してみましたので、まず4つの中核的なプログラムから概要を説明いたします。

烏山病院で発達障害専門外来が立ち上がった2008年から開始されたのが「ASD専門プログラム」です。当時は水曜クラブという名前で試行錯誤しながらメンバーさんと一緒に作り上げていました。2013、2014年に厚生労働省障害者総合福祉推進事業を受託して全20回のコミュニケーションプログラムが完成しました。内容はコミュニケーションで何が起きているのかを理解し、あいさつから会話を始める、終えるなどのスキルに関すること、感情のコントロールやストレス対処といった心理教育、お互いに助け合うピアサポートなどが含まれています。デイケアを利用する入口でもあり、中核となるプログラムです。

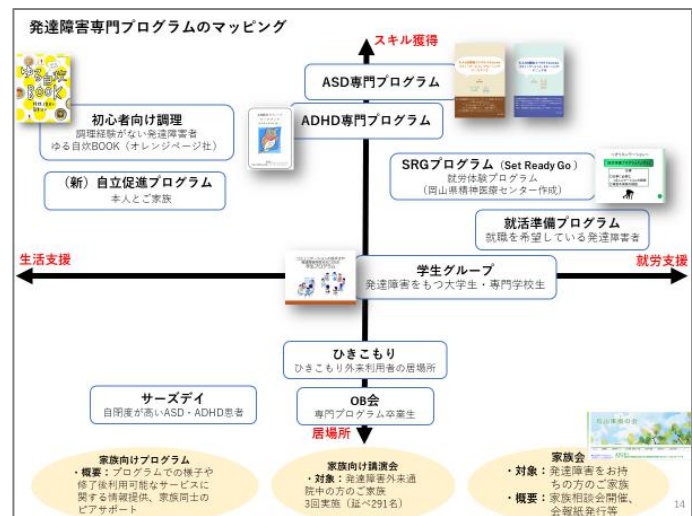
2つ目は「ADHD専門プログラム」です。ADHDの主要症状である不注意、多動・衝動性について、ネガティブな悪循環を招きやすい認知・思考のクセを理解し、困り事とその対処についてディスカッションを行う全12回のプログラムです。ADHD特徴のある方は発言量や情報量が多くなりやすいので、プログラムでは発言の交通整理をうまく行って要点をまとめた板書するのがスタッフの腕の見せ所です。

「学生グループ」は大学・大学院・専門学校のASD・ADHD学生を対象にしたプログラムで、若く社会経験をこれから積む学生ならではの内容です。「Ⅰ居場所づくり・自己理解編」「Ⅱ

コミュニケーション編」「Ⅲ就活準備編」の3ステップ全11回で構成されています。晴和病院(現小石川東京病院)、東工大、一橋大、筑波大との共同研究で作成したプログラムで、学生のうちに自己理解を深め、卒業後に支援が途切れてひきこもりの状態になることを防ぐことも、このプログラムの意義と考えています。終了後に定期的に行われるOB/OG会が盛況で、みんな楽しそうに過ごされるのを微笑ましく思っています。

4つ目が「サズデイ」です。自閉特徴が高めでよりコミュニケーションが苦手な方を対象にしたプログラムで、ASD専門プログラムの内容をよりわかりやすく、イラストを用いながらゆっくり進めていきます。体験することをより重視していて、この2年は実現していませんが、外出プログラム「初めての・・・」シリーズが好評です。これまで経験していないことをみんな体験する企画で、行列のできるラーメン屋やバイキングに行ったりしました。ひきこもりが長い、パニックになりやすいといった方が、時間をかけて経験を積む姿を担当スタッフが見守ります。

コミュニケーションを中心とした4つのプログラムを補うのが、就労や生活に焦点を当てたプログラムです。まず「SRG(Set Ready Go)プログラム」とは岡山県精神科医療センターで開発された就労体験プログラムです。仕事の不安やビジネスマナーについて学び、ボルトとナットの組付け作業を通じた共同作業を行うことで職業準備性を少しでも高めようというものです。生活力に焦点を当てた「初心者向け調理プログラム」は、オレンジページ「ゆる自炊BOOK」をテキストに、オレンジページ広報



さんと協働で実施していました。とても簡単でわかりやすいテキストなので料理が苦手な方にもお勧めです。コロナが収まってきたら再開する予定です。そしてAMED(日本医療研究開発機構)の支援を受けながら開発中なのが「自立促進プログラム(研究代表者：五十嵐美紀)」です。デイケア利用者の半数以上が親御さんと同居している、多くの方が就労中もしくは就労準備中で、就労継続に支障が出ないように家族から生活面・精神面のサポートを強く受けている、といった現状が見えてきました。突然やってくるかもしれない「親亡き後」のタイミングで生活が破綻しないための準備を、ご本人とご家族が共に学ぶプログラムとして開発しています。今年度中にはプログラムの効果検証を予定しており、研究条件を満たした方には研究協力のご依頼をしたいと考えておりますので、多くの方のご協力を賜れば幸いです。

これら以外の取り組みとしては、各専門プログラムのOB/OG会や、外来で実施中のひきこもり外来の居場所支援などがあります。いずれの取り組みもスキル獲得という要素がありますが、プログラムに参加することの一番のメリットは、自分と似た仲間と出会い、お互いの経験を共感的に理解し合って、新たな経験を蓄積するという機会を得ることだと思います。今後も多くの方に役立つデイケアプログラムを考えていきたいと思っています。

■ 烏山東風の会 第10回講演会アンケートより ■



4月9日(土)に開催した根本雄司先生の講演会「親あるうちに聞いておきたいこと～成年後見制度と民事信託を中心に～」には70名近くの方が出席し、多くの方々にアンケートに回答頂きました。厚く御礼申し上げます。自由記入欄に記入された内容をご報告します。

1. 講演会へ出席の動機

- ・子供の将来を考え、また、親が高齢による親亡き後のことが心配で参加するという理由を

挙げた方が多くいらっしゃいました。親が健在なうちにということで出席したということです。

- ・障害者に対する後見人制度が世間に認知されてきているので、今後の為に勉強したいという方もおりました。

■障害者への施策として後見人制度というものがありますが、まだまだ社会に広く適用されるまでには至っていないのが実情です。政府も成年後見人制度を使いやすいものにするために改革をする方向にあります。東風の会としても、今後も継続してそれらの情報を発信してゆきたいと考えています。



2. 講演を聞いての感想

- ・講演は、具体例が多く分かり易く勉強になった。それでも2割の方が難しかったとの感想を述べられていました。
- ・後見人制度は聞いていたが、信託についても話を聞いて良かった。また一言で済む話でないことが判っただけでも大変参考になったとの感想を述べられていました。

■前号の会報で報告しましたが、講演者は制度の適用には慎重に考慮が必要と話されています。そのため後見人制度については、多くの方の意見を聞きながら内容を理解してゆく必要性がある事柄と思います。

3. 今後の講演会の要望

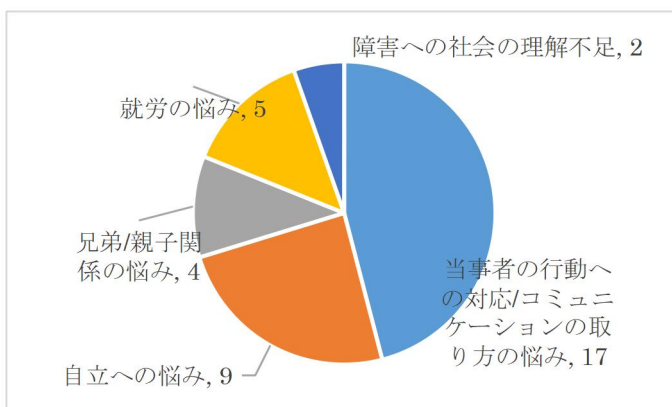
- ・当事者の自立への法的支援については定期的に行って欲しい・後見人制度の講演は引き続いて行って欲しい
- ・障害年金/就労について・当事者の言葉が聞きたい(特に成功した)・当事者への教育について知りたい
- ・家族・兄弟関係について悩んでいる・IDECO(個人型確定拠出年金)について聞きたい

■東風の会として少しでも、情報提供の場を設けていきたいと考えておりますので、講演会は引き続いて行っていきます。なお、会では講演会以外にも女子会、相談会、しゃべり場等を開催していますので会員の皆様は活用してください。

4. ご苦労なさっていること(親・本人)1つでもいいですからご記入ください。

1つでもと記載をお願いしたのですが本来悩んでいることは、図表に記載された全てであろうと思います。しかし一番の悩みは、当事者又は親とのコミュニケーションをどうとっていったらいいかということに尽きるのでしょうか。

■悩みは孤立しないことで和らぐことがあります。東風の会もその役割を果たせるよう活動をしていきたいと思いません。



5. サポートをしてもらってる組織/NPOはありますか。

- ・烏山病院のみ 17名 他の組織/NPOを利用している方 21名 未回答 18名

■1/3の方が、サポートステーションや都/区/民間就労支援会社等使用していました。地方の方で支援組織がなく苦労されている方もいらっしゃいました。そのためにも支援組織が全国的に広まっていくことを期待したいと思いますが、将来的には東風の会の活動もコロナの経験を踏まえながら、様々な通信手段の活用も図らないといけないと考えさせられる内容です。

◇今回の講演会は、烏山病院支援の下、感染対策をしながらでしたが、2年越しでようやく再開することができました。皆様のご協力に感謝いたします。(T.S)





■「烏山東風の会」今後のスケジュール ■

～何でもお話し下さい。心の壁紙の色と模様を替えてみませんか～

東風の会では、感染状況を見つつ十分な感染対策をしたうえで一部の活動を再開しました。

■家族相談会 7月20日(水) 8月17日(水) 午後1時30分～午後4時

烏山病院 発達障害医療研究所デイルーム

専門家ではありませんが、同じ親の立場として家族会世話人がお話しをお伺いします。

■烏山東風の会女子会 7月23日(土) 午後1時30分～午後4時

烏山病院 リハビリテーションセンター

■参加当日は、コロナクラスターが発生した際の対策の為、お名前、住所等の連絡先の記載をお願いしております

■世話人会 7月23日(土) 8月20日(土) 午後1時半から

会員の方の見学、ご参加をお待ちしています。

◇相談会/女子会/世話人会の申し込み・お問合せ先

：「烏山東風の会」携帯 080-3009-1200 kochinokai@au.com

：「烏山東風の会」ホームページ：<https://www.kochinokai.com> お問合わせコーナ



■ 会費振込のお願い ■

この会報誌は「烏山東風の会」に入会している方にお配りしています。4月より新しい年度になりますので、新年度の会費につきまして1年分6000円、または半年分3000円を、以下のいずれかの銀行口座にお振り込みいただくようお願い申し上げます。

① 三菱UFJ銀行 永福町支店 (普) 0106550

「烏山東風の会 会計 黒田邦夫」

② ゆうちょ銀行 記号・番号：10000-29576521 「烏山東風の会」

お問い合わせ：黒田邦夫 090-4173-7604

テイクア写真館

ガーデニングについて

ガーデニングは通常、月・水・金の週3日で活動しています。

今育てているのはイチゴやピーマン、トマト、シソ、赤シソ、ミント、ローズマリーなどです。今の季節はイチゴがよく採れています。他にもシソなどがよく採れています。

トマトの花が咲いているので、真夏になればトマトが沢山採れるでしょう。秋から冬にかけては、野菜が採れないのでビオラやジュリアンなどの花を育てています。ガーデニングで採れたものは、帰りの会にてダイケア参加者の人たちに配っています。

以前はタバコの吸い殻を畑に捨てる人や、食べ頃になると野菜を盗む人がいたり悲しいこともありました。注意の看板を作り対策しました。

おいしそうな野菜や、きれいな花が咲くと楽しくなり、これからもガーデニングを続けたいと思います。(A.A)

